

①イスラエル

テルアビブからヨルダンの首都アンマンへ、計39名の邦人の退避を支援(3/1、3/11)。

②イラン

テヘランからアゼルバイジャンの首都バクーへ、計17名の邦人等の退避を支援(3/3、3/7、3/20)。



③周辺国

- (1)クウェート、サウジアラビア(東部州)、バーレーン、カタール、UAE、オマーン、ヨルダン(東部)の危険情報をレベル3(渡航中止勧告)に、レバノン、イラクの危険情報をレベル4(退避勧告)に引き上げ。
- (2)3月7日から3月12日にかけて、国際空港が閉鎖されている国で足止めされている邦人及び在留邦人を、空港稼働中のリヤド、マスカットへバスで輸送。
- (3)3月8日から3月14日にかけて、マスカット、リヤド、ドバイから日本政府手配のチャーター機(合計6機)により出国支援を実施。

リヤド方面

- 9日 281名
- 10日 172名
- 13日 222名

ドバイ・マスカット方面

- 8日 107名
- 10日 276名
- 12日 46名

【出国支援実績】

合計 1,160名

(邦人等1,141名＋余席提供19名)
(余席提供:韓国、米国、インド、台湾)



2月28日のイラン攻撃以降、中東地域の我が国在外公館は、安全に関わる現地の情勢や邦人のニーズを踏まえつつ、邦人保護に万全を期すべく努めております。

中東地域の在外公館の連絡先は以下のとおりです。お困りのことや支援が必要なことがございましたら、以下の各公館連絡先までご連絡ください。休館日及び閉館時間帯でも対応いたします。

各公館のHPにつきましては以下外務省のリンクからご確認ください。

外務省HPリンク：mofa.go.jp/mofaj/link/zai...



- ...閉鎖している空港
- ...部分的に稼働している空港
- ...稼働している空港
- ...日本人の乗員(24名)がいる船舶